

# こんにちは 三原じゅん子です

NO. 20 2011年 5月 25日

日本共産党 名張市議会議員

三原 じゅん子

すずらん台西4-202

☎0595-68-3552

生活相談は  
お気軽に!

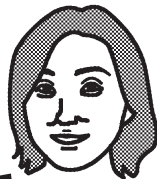


3月11日  
におきた東  
日本大震災で、被災さ  
れた方々に心よりお見  
舞い申し上げます。家  
族や友人をなくした悲  
しみや、家や仕事を無  
くし、これからの生活  
再建に不安を抱える  
日々は、私たちの想像  
を超えるものではない  
でしょうか。1日も早  
い復興と、被災者のみ  
なさんの安定した暮ら  
しを取り戻すために、  
皆さんと力を合わせて  
まいります。

この間、憲法9条と25条にちなんで、毎月9日と25日に桔梗駅前街頭宣伝をし、募金の訴えをしています。集まった募金は日本共産党で集約し、必ず現地に届けます。これまでのご協力を感謝申し上げますと共に、引き続きよろしく願います。

## 3月議会報告

### 市長の施政方針を問う



#### 三原のQ まちづくりについて

名張市の財政難の原因は何か?

この間の財政削減は、市民サービスの削減となった。

財政再建を急ぐあまり、住民の福祉・教育・社会保障が低下してはならない。

地域まちづくり組織に、地域課題の解決を託しているが、まちづくり交付金も削減され、大変な困難を強いるものではないか? 住民の暮らしを守る自治体本来の役割を果たすことを求める。

名張市の



借金が多く交付税が減ってきたことが、財政難の大きな理由である。これまでH15年からH22年までで、80億円の削減効果があった。サービスの削減ではなく転換と考えているが、市民の皆さんには、無理を聞いてもらい、受益者負担もお願いしてきた。地域まちづくり組織を知らないという実態がある。今後交流やふれあいを通じて、みなさんが地域まちづくり組織に参加してもらえるように働きかける。地域課題については、地域の土俵で行政も一緒になった解決にむけて取り組む。



#### 三原のQ 保育所の民営化と幼稚園と保育所の一元化「こども園」について

民営化された保育所で、これまでの安心できる保育が守られているか? 待機児童の解消と保育士の確保はできているか? 安心できる保育の実現のため、保育士の職場・労働環境について市としても責任をもつことを求める。国は「こども園」をすすめようとしているが、全国の幼稚園・保育所では6割が、この制度にたいして不安や疑問の声があがっている。名張市は今後どのように考えるか? 子ども手当てが先行きどうなるか分からない中、年少扶養控除が廃止となった。保育料があがらないように手立てが必要である。

名張市の



法人職員の保育引継ぎ会を行い、これまでの保育の継承につとめる。昨年の10月の申し込みで、4月時点での待機児童は解消できたが、それ以後の途中申し込みについても、引き続き調整をはかる。「こども園」は国の動向をみながら、こども権利救済委員会にも協議をお願いし検討する。年少扶養控除が廃止となり、所得が増えることで保育料が上がる可能性がある。国で対策としてH23年に保育料の基準価格の改定があり、市も合わせて見直す。

三原の



#### Q 学校給食の民間委託について

- ・安全でおいしい給食のための、正しい監督が行き渡っているか?
- ・他の自治体では、直営より民間のほうが予算がかかるとして、民間委託を止め直営に戻す動きがあるが、名張市の実態は?
- ・地産地消の給食をすすめ、食を通して地域全体で子どもを育てる取り組みを。
- ・遅れている中学校給食の早期実施を。



名張市の



- ・民間委託実施は、美旗小・名張小・つつじ小・梅が丘小・百合丘小・桔梗が丘小。1校につき500万円～700万円の削減で、調理業務のみ民間委託をしている。
- ・地産地消については、米は名張産のものを使用し、バリっ子給食や三重地物1番の日を設定して取り組んでいる。また、各学校で食材を調達しており、錦生小や梅が丘小などは、地元の農業者との交渉がすすめられており、市内全体にひろげるために、JAファーマーズマーケットを核とし、生産者との結びつきをはかっていきたい。
- ・中学校給食は必要と認識はある。引き続き課題として考えていく。

